

2017春季生活闘争

J R 連合 F A X ニュース

No. 24

2017年3月1日

日本鉄道労働組合連合会

JREユニオン 第1回新賃金交渉

一部労組とだけの事前確認

「ルールを逸脱した対応」の経緯説明求める

JREユニオンは、2月28日、第1回新賃金交渉を行った。交渉前段、2月8日付けのJ R 東労組「業務速報」で明らかになった、「交渉以前に交わされたという「確認」事項」について、この間の経緯を会社側に説明を求めた。

これに対し会社側は、労使協約に基づき申し入れのあった中身の交渉を行い、その時機における会社側の考え方を述べたものであり、掲出されている内容については間違いない。また、ルールを違反、逸脱したものとは考えていない。しかし、他の労組への配慮などに欠ける部分があったのではないか、もう少し出来得ることがあったかもしれないとの認識を示した。

組合側は、今次交渉を始める上で、非常に残念であると訴えるとともに、理解しがたいものがあると強く主張した。また、この事象について、背景にスト権や36協定問題が関与しているのではとの組合側の指摘に対し、会社側は否定した。

一時中断後再開された交渉で、組合側より申し入れの趣旨説明、会社側から現状認識等について説明があった。

JREユニオンは、グループ一体となった賃金の底上げをはからなければ、この先の30年を見たらうえて、将来的なJ R 東日本の発展、持続的な維持成長はないと主張した。